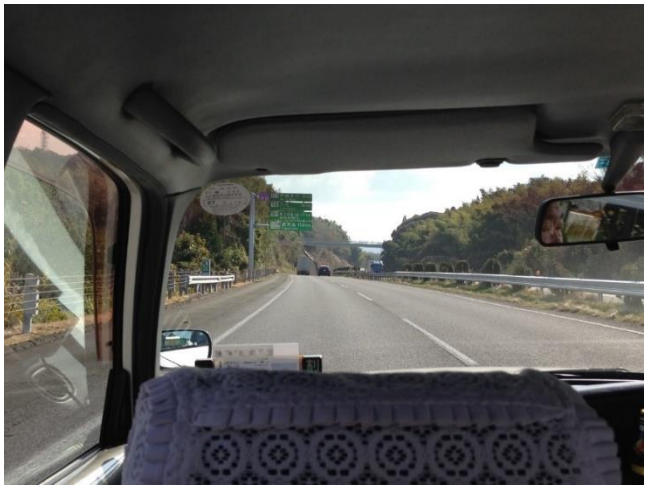
宮本 昌典さん九州高校選抜大会（ウエイトリフティング）応援レポート　2015/1/17(土)

1月2日、カタールのドーハで行われたアジアジュニア選手権での宮本さんは成績は

氏名	スナッチ					クリーン＆ジャーク					トータル	
	1	2	3	ベスト	順位	1	2	3	ベスト	順位	記録	順位
宮本　昌典	120	125	127	127	4	145	150	×155	150	6	277	5

「トータル」では5位とメダルには届かなかったものの、「スナッチ」の127kgは自らの高校記録を更新した。
ところが、帰国後の宮本さんから1月17日に行われる九州高校選抜大会でも、再び高校新記録を狙うという宣言が届いた。
「これは、新記録更新の瞬間に立ち会い、応援せねば！」
事前の情報で、宮本さんの69kg級は1月17日、熊本県八代農業高校で、15時からのスタート。12時すぎ熊本着の便で飛ぼうと、羽田空港に到着。身支度ついでに、LINEを確認すると、宮本さんから13:05スタートになった旨の連絡がきていた。あっ、間に合わないかも、せっかくの機会を逃すわけにはいかない、なんとかせねば･･･
それに連絡をくれていた宮本さんに申し訳ない。着信音をバイブ音ではなく、ガンガン鳴らしてたら、慣れないながらも、LINEをタイムリーにチェックしていれば･･･。後悔先に立たず、熊本空港に到着したら、できる限り会場へ急ごう。



飛行機は少し遅れ、12:30に到着。
熊本空港から八代農業高校へはバス＋電車＋徒歩だと、約2時間弱かかる。

まずはタクシー乗り場へ急ぎ、案内のおっちゃんに事情を説明、八代農業高校の場所を知っていて、法令遵守した上での最速運転手さんの車に乗り込む。

ところが、高速道路に乗った途端、安堵した。
流石、わが出身地九州の高速道路、すいている。
←車がいない！さえぎるものはいない！高速はこうでなくちゃ。

13:15に熊本県立八代農業高校体育館に到着。まだ、69kg級の試合開始前だった。

日本の高校生の中では無敵の宮本さん。アジアジュニア選手権では20歳までの選手が参加しているとはいえ、彼自身が納得する成績を残せなかったことが、今大会での記録更新意欲に火をつけたのでは、と勝手に解釈していた。
いよいよ、宮本さんの「スナッチ」の試技が始まる。

「スナッチ」の1回目は123kg。アジアジュニア選手権で127kgをクリアしている宮本さんは軽々とあげてくれるだろうと余裕をもってみつめた。ところが、腰を落として一気にバーベルを頭上にあげ、力をためて立ちあがろうとした瞬間、ふっと、力が抜けたようにバーベルが前に落ちた。まさかの失敗である。

123kgの2回目はバーベルを軽々と天に突き上げた。3回目のアナウンスは124Kg。「時間をとめてください」のアナウンスで重量増加し、125kgに。 おや？高校新記録は「ジャーク」で狙うのかな？と思った瞬間、128kgへ変更のコール。123kgで失敗があったにも関わらず、新記録への挑戦だ。

見事に成功！高校新記録樹立！失敗をしてもあきらめず、成し遂げる強さ、素晴らしい。

続いて、「ジャーク」。1回目は151kgを余裕で成功。2回目は154kgへ重量UP、トータルで282kgの高校新記録への挑戦だ。しかし、ここでも腰を落として肩に持ち上げたバーベルが、立ち上がろうとした瞬間、肩から落ちた。↓アジア選手権で、「ジャーク」では自己ベストからはほど遠い150kgにとどまっていたことが気になった。

いよいよ、「ジャーク」3回目、154kgへのチャレンジ。腰を落とし、ひょいと肩にバーベルをのせる。2秒ほど、その姿勢のままで力をためて、立ち上がる。そこからもう一段、電気を充電するように力を貯める静寂があって、足を前後に開いて、バーベルを頭上へと突き上げる。

最後、前後の足を並行にしてフィニッシュ。「スナッチ」と「トータル」で高校新記録更新達成！素晴らしい♪
いつもの雄叫びとガッツポーズ。そして、最後には両腕を上げて、勝利のポーズ。私も自然に体に力がみなぎる。
彼は有言実行し、自らを超える記録をまた、樹立してくれた。

試合後、宮本さんから、「肩を痛めていて、ジャークでは100%のパフォーマンスが見せられず、すみません」と
LINEで謝られてしまった。体調が100%でないにも関わらず、高校生が誰一人登っていない山に、彼は宣言し、
あえてプレッシャーを自分にかけた上で登りきった。本当に素敵だ。
20年前、神戸で震災を経験したこの日に、前人未到の山を目指す若い生命力の躍動を感じられて、感謝。